

第 1 部会のヒアリング項目

No.	対 象	ヒアリング項目	回 答	所 管
1	【計画事業39】 特別な支援を要する人への居住支援	<p>①先のヒアリング項目の回答で、高齢者等入居支援において協定保証会社のあっ旋対象者と家賃債務保証の助成対象者が同一でないことについて、「制度をより利用しやすいものとするための見直しを検討する」とされている。見直しの方向性は具体的にどのような考えで考えているか。</p> <p>②セーフティネットとしての事業であれば、件数の実績は少ない方が好ましいという見方もできるが、高齢者入居支援の目標水準である「毎年度25件」は、どのような考えで設定されたものか。</p>	<p>あっ旋の対象を、助成の対象と同じ「60歳以上の高齢者のみで構成される世帯」に拡充する方向で検討していきます。</p> <p>セーフティネットということを踏まえ、余裕をもった件数を予算としたので、その数字で設定しました。</p>	